

(43)

1 組 3 号 ; 氏名

下書き (毎時間または指示ありの時)

0 単元名・教材名 古典の文章に出会い、現代とのつながりを考えよう。  
蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から

時数	取り組んだ日付	活動の内容	身に付けた力
1	10/26	・「NHK for School」視聴 および全文を通読し、学習の 見通しを持つ。 ・冒頭部分を音読する。	・古典の文章に興味・関心を持つこと。
2	10/30	・冒頭部分を繰り返し音読する。 ・現代語訳や「古典の言葉」を参考にして、仮名遣いや文末の違い、現代では使われなくなつた言葉に着目して読み進める。	・現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開をとらえること。
3	11/2	・古典の文章をリズムを味わいながら繰り返し音読する。 ・現代の文章と古典の文章とで異なる部分を捉えながら物語の展開を捉える。	・現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開を捉えること。
4 5	11/5	・物語に登場する人々の思いや行動について、現代の自分たちの考えや行動と比較し、発感したことや考えたことを発表する。	・現代の感覚と比べて、共通点や相違点に気づくことで、古典の世界への興味を持つこと。
6	11/6	「言葉の学習であること」を忘れず学んだか〜粘り強さ」 「どんな刺激に對しどう変容したか〜自己調整力」 を振り返る。	毎時の記述を基にして、学びのプランに「学習の振り返り」を書く。

- ① 言葉に注目し、よく考えることができたのは、どんなことか。
- ② 誰(何)に刺激を受け、自分はどう変わったか。
- ③ その他、友人の変容など。全体的な感想。

(印象に残る言葉や場面のメモ書き、図示を)

① 私は、「今昔」という言葉に注目していた。私  
が知っている昔の話は、昔、昔あるところから始まる話が多いと思う。竹取物語が日本最古の物語だから、私は、これを昔人が書いたと思う。

② 前までは、カゲヤ姫が、月に帰るシーンや、五人の皇子たちとのシーンしか考えてなかったけど、昔人も、今人も、月の世界がたいてい、地上の生活とは違う、すばらしい世界にあるか、思いました。

③ また、昔の物語を学習することがあったら、現代とは違う考えや、文字に書いて学ばたいです。

1 組 子 10号 ; 氏名

下書き (毎時間または指示ありの時)

0 単元名・教材名  
 古典の文章に出会い、現代とのつながりを考えよう。  
 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から

時数	取り組んだ日付	活動の内容	身に付けた力
1	10/26	・「NHK for School」視聴 および全文を通読し、学習の見直しを持つ。 ・冒頭部分を音読する。	・古典の文章に興味・関心を持つこと。
2	10/30	・冒頭部分を繰り返し音読する。 ・現代語訳や「古典の言葉」を参考にして、仮名遣いや文末の違い、現代では使われなくなつた言葉に着目して読み進める。	・現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開をとらえること。
3	11/2	・古典の文章をリズムを味わいながら繰り返し音読する。 ・現代の文章と古典の文章とで異なる部分を捉えながら物語の展開を捉える。	・現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開を捉えること。
4 5	—	・物語に登場する人々の思いや行動について、現代の自分たちの考えや行動と比較し、発表する。	・現代の感覚と比べて、共通点や相違点に気づくことで、古典の世界への興味を持つこと。
6	11/6	「言葉の学習であることを忘れず学べたか〜粘り強さ」「どんな刺激に對しどうしたか〜自己調整力」を振り返る。	毎時の記述を基にして、学びのプランに「学習の振り返り」を書く。

- ① 言葉に注目し、よく考えることができたのは、どんなことか。
- ② 誰(何)に刺激を受け、自分はどのように変わったか。
- ③ その他、友人の変容など。全体的な感想。

(印象に残る言葉や場面のメモ書き、図示を)

① 昔の言葉がた〜さんあって、分かるものから分らないこととはまあ、た。しかし、左側にある文を見ると、えがかれたい内容がよく分かった。いとはちがう言い方があったり、某佳かしい言葉があったりした。その中でも「よろづ(ずん)という言葉がバビに死んでいる。

② 「竹取物語」も読んでいくと、某佳かしい言葉があつて読みかたが分かった。月の人か違っていったものが、今案バビしていててもさ〜(〜)と思ひました。

③ 同じ読みかた。もちから字にバビる(〜)にバビる。

1組 子 12号; 氏名

下書き(毎時間または指示ありの時)

0 単元名・教材名  
 古典の文章に出会い、現代とのつながりを考えよう。  
 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から

時数	取り組んだ日付	活動の内容	身に付けた力
1	10/26	・「NHK for School」視聴 および全文を通読し、学習の ・冒頭部分を持つ。 ・冒頭部分を音読する。	・古典の文章に興味・関心を持つこと。
2	10/30	・冒頭部分を繰り返し音読する。 ・現代語訳や「古典の言葉」を参考にして、仮名遣いや文末の違い、現代では使われなくなつた言葉に着目して読み進める。	・現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開をとらえること。
3	11/2	・古典の文章をリズムを味わいながら繰り返し音読する。 ・現代の文章と古典の文章とで異なる部分を確かめながら物語の展開を捉える。	・現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開を捉えること。
4 5	11/6	・物語に登場する人々の思いや行動について、現代の自分たちの考えや行動と比較し、発感したことや考えたことを発表する。	・現代の感覚と比べて、共通点や相違点に気づくことで、古典の世界への興味を持つこと。
6		「言葉の学習であること」を忘れず学んだか〜粘り強さ「どんな刺激に対しどう変容したか〜自己調整力」を振り返る。	毎時の記述を基にして、「学びのプラン」に「学習の振り返り」を書く。

① 言葉に注目し、よく考えることができたのは、どんなことか。  
 ② 誰(何)に刺激を受け、自分はどう変わったか。  
 ③ その他、友人の変容など。全体的な感想。

① 言葉では、特に、仮名遣い (印象に残る言葉や場面のメモ書き、図示を)  
 に気をつけました。そして、仮名遣いは、難しい  
 読み方がたくさんあるのだと分かりました。

② 竹取物語には、こんなにも、たくさん続きがあつて、おもしろかつたです。特に、かぐや姫もあつたら、月の世界に帰りたいなくなつた。かぐや姫の心情の変化などが木杵だと思ひました。

③ 古典や、仮名遣いなど、難しく、あまり分かりなかつたです。だから、もう少し勉強して、昔のことについて、いろいろと知りました。